

授業科目	北九州の技と文化				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE10603J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>北九州には、長年、ものづくりに携わり、優れた技術・技能をもった「匠」「達人」がいて、「企業」があります。タイムパフォーマンス、利便性が追求される現代では、地域で育まれてきた技や伝統文化に出会い、接する機会も少なくなってきました。本講では、達人たちの生き方や仕事に対する向き合い方、企業の歴史、今後の展開や方向性を学び、これからの人生への礎としてほしいと思います。この授業では、北九州の文化圏でその技や文化を継承し、発展させてこられた外部講師の方々の講義のほか、体験を通して、地域に伝承される技やその背景の文化の一端を知り、考えます。ディスカッション、レポート、発表(口頭、プレゼンテーション)、レポート外の提出物、その他の活動で理解を深化させて、提案ができるようになる活動を行います。PPT(オンライン提出)をベースにして、ポスターを作成します。それを教室に貼り、ポスターセッションを行います。ポスターセッションとは、ポスター作成者が聞いてくれる人たちに発表をすることです。なお、PPTは全員がオンラインで確認します。それを見て、どの人たちのポスターセッションを聞こうかと決めておくこととなります。</p> <p>* 外部講師(全5回)と学生の活動報告(1回)の内容・順番が変更になることもあります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域・社会で活躍することの意義を習得することができる 2. 伝承されてきた技と背景的な歴史と展開を理解できる 3. 講義内容を理解し、まとめ、提案を含むプレゼンテーションをすることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	20	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			40	20	20	20	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

講義内容の意味を正確に理解し、適切な表現で課題を分かりやすくまとめることができる。また客観的な根拠(エビデンス)に基づいて論理的に主張を述べ、独創的な提案ができる。		講義内容の意味を理解し、適切な表現で課題をまとめることができる。根拠(エビデンス)を示して、自らの主張を述べ、提案ができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ;オリエンテーション 本講義の目的と授業の進め方、達成の目安、評価方法等について 解説する。(林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	30分
2	テーマ;地域で育まれてきた文化(1) 小倉織とその文化(外部講師、林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
3	テーマ:環境モデル都市と文化 (外部講師、林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
4	テーマ;地域の伝統と食文化(外部講師、林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
5	テーマ:1.地域貢献に活躍する学生の活動報告 2. 評価方法等について (林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
6	テーマ:地図づくりの歴史とこれから(外部講師、林) *ポスターセッション用紙配布	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
7	テーマ;地域で育まれてきた文化(2) 地域の食文化-「ぬかだき」を知る(外部講師、林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
8	テーマ:1.プレゼンテーション(ポスターセッション) (林)	講義	講義の概要について理解し、復習する。	50分
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	初回の授業(オリエンテーション)で講義全体の概要を説明する。関連する文献を読み、予備知識を得ておく、授業の内容を深めることができる。初年次ゼミナー I、II 等が理解できている。			
テキスト	1.授業前課題が出されます。30分程度は学習が必要な課題です。2.プリント等で配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	大学図書館の朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル(大学図書館、キャンパス内の情報演習室等から閲覧可能です) 新聞・雑誌を利用します。図書館には何種類もあります。 知へのステップ 第5版 —大学生からのスタディ・スキルズ 学習技術研究会(著)出版社:くろしお出版;第5版(2019) ポスターセッション関連: https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20190410/postersession.html https://vipcamp.org/2016/poster.html https://www.toyama-c.ac.jp/news/000735.html			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から新聞、雑誌等を読み、ニュースを見て、世の中でどのようなことがおきているかを知ることが大切です。図書館を活用しましょう。 社会にはいろいろなことがあることを知るのには、紙の新聞です。いろいろなことが社会にはあることが新聞を広げることで、わかります。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	評価については1回目の授業で詳細を説明します。大まかには、次のようになります。1.「レポート」は、授業(8回)の最後に出すコメントで40。2.「発表(口頭、プレゼンテーション)」は最終回のポスターセッション発表で20。3.「レポート外提出物」はPPTでの提出物で20。4.「その他」はポスターセッションを聞いた後のレポートで20です。1、2は教室で提出。3、4はオンライン提出。1.「レポート」は写真撮影をしておきます。 出席は評価の対象ではありません。単位認定の条件です。3回以上の欠席で単位認定資格を失います。 レポート、提案などは感想だけでは成り立ちません。客観的なエビデンス、論理的構成が必要です。わかりやすい文章、プレゼンテーションのスキルはキャリアでも有利ですので、在学中にきちんと習得しておくことが大事です。			

